令和８年度第１回留萌市新交流複合施設整備検討会議

日時：令和８年９月２９日（火）
１５：００～１６：００
場所：市役所　第２委員会室

出席委員：藤野座長、笠井副座長、橋本委員、菅委員、炭谷委員、村上委員、
坂本委員、畑中委員、佐藤委員、谷委員、菖蒲委員、山本委員、
志田委員、矢作委員
オブザーバー：渡辺総務部長、海野地域振興部長、吉田教育部長、三上総務課長、
林政策調整課長、菊池財務課長、竹内経済観光課長、
百瀬生涯学習課長
事務局：湯浅都市環境部長、真鍋複合施設・庁舎等整備推進室長、峨家係長、
成田主査、 遠藤主査

１　委嘱状交付
２　市長挨拶
３　座長・副座長の選任
４　報告
①令和７年度の振り返り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料１】
②令和８年度の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料２】
５　議事
①留萌市新交流複合施設整備検討会議設置要綱の一部改正・・・・・【資料３】
②留萌市新交流複合施設整備基本計画素案　概要版・・・・・・・・・【資料４】
本編・・・・・・・・・【資料５】
③代替案の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料６】
④今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料７】
６　その他

1. 開会・出席者確認・事務局体制の変更および発令

〇事務局

※都市環境部長ほか担当所管及び関係部課長等オブザーバーの紹介
※委嘱状交付（任期：令和 9 年 3 月 31 日まで）

2. 市長挨拶

〇市長

皆様こんにちは、市長の益田です。本日はお忙しい中ご出席いただき心より御礼申し上げます。今日は改めまして、検討会議の委員を引き受けいただきましたことに心より御礼申し上げます。昨年度は 6 回にわたり新たな交流複合施設のあり方について熱心にご議論いただきましたことにつきましても、重ねて感謝申し上げます。

また、これまでのご議論の中で再度のご検討をお願いすることになりましたことにつきまして、お詫び申し上げますとともにご理解いただきたいと思います。

当初の予定では、皆様の委嘱期間は基本計画を策定する令和 7 年度末までとなっておりました。当初の素案段階（76 億円程度）から、物価高騰・資材高騰等の影響により総事業費が 100 億円を超える試算・見込みとなり、水道の更新やゴミ処理施

設、市立病院への財政負担、今後の学校建て替えなど、市全体の財政負担を考えたときに、このままのスケール・当初規模で進めることは困難であると判断いたしました。

国の財政措置（補助事業）がある「市民交流・にぎわい」の部分につきましては皆様の前回のご議論をベースとし優先させ、財源措置のない「庁舎部分」につきましては市の内部で時間をかけて積み上げていきたいと考えております。令和 9 年度の国の補助事業に間に合わせるフレームワークの中で、時間も限られておりますが、ご議論を深めてまとめていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 資料確認・座長および副座長の選任・専門部会メンバーの選任

〇事務局

※設置要綱第 5 条に基づき、座長および副座長の選任を行った。
（前年度に引き続き座長に藤野委員、副座長に笠井委員の留任が決定）
※専門部会メンバーは佐藤部会長、藤野座長、笠井副座長、炭谷委員、畑中委員、橋本委員の計６名（留任）

4. 報告事項（事務局より説明）

(1) 昨年度の振り返り（資料 1）

(2) 令和 8 年度の経過（資料 2）

5. 議事

1. 設置要綱の一部改正（資料 3）

〇事務局

変更点は 2 点ございます。1 点目は、7 月 1 日の人事異動に伴う組織機構の見直しにより、事務局を担当する課等の名称が変更となった点です。2 点目は、青年会議所からの申し出を受け、市民検討会議の構成員から同会議を削除した点です。

2. 新交流複合施設整備基本計画素案（フルボリューム／フルパッケージ案）について（資料 4・5）

〇事務局

基本計画素案（概要版：資料 4、本編：資料 5）につきましてご説明いたします。当初は延べ床面積約 9,700 ㎡、全体事業費約 124 億円超（物価上昇率 116.1%を織り込み、本体工事費約 100 億円＋外構・設計費等）と試算しておりました。しかし、現在さらに建築資材高騰等により単価が上振れしており、財源措置のない庁舎機能を合わせたフルパッケージでのそのままの整備・実施は困難・不可能な状況となっております。本案をベースとして見直し（代替案の検討）を行います。

3. 代替案の検討について（資料 6）

フルボリューム案の見直しに伴う「代替案（A～D 案）」をご説明いたします。

- **A 案（当初フルボリューム案）**： 工事費（資材高騰）により 140 億円を超え、財政的に困難。
- **B 案（事業費 100 億円以下・市負担 31 億円以下に抑える案）**：
    - **パターン 1**： ホールを簡易仕様にし、庁舎を 3,100 ㎡（200 人規模）に縮小。分散庁舎が発生。総事業費 94 億円。

    - **パターン２**： ホールを当初の高品質仕様に戻し、庁舎を縮小。総事業費 124 億円（市実質負担増は 10 億円程度）。
    - ※建築資材高騰により、財源措置のない庁舎機能との併設・一体整備はいずれも困難と判断。
- **C 案（交流棟と庁舎棟を分離配置する案）**： 重複部分・共有部分（階段・エレベーター等）が増加し、配置効率が落ちコスト削減効果・メリットが薄い。
- **D 案（庁舎機能を切り離し、市民交流・ホール機能を先行整備する案）**：
    - 駅跡地には市民交流・ホール機能のみを先行して新築整備。
    - 庁舎機能（議会含む）につきましては、既存施設の活用や耐震化・改修・縮小、他敷地での検討（将来的な新築可能性含む）を並行して検討・精査を行う。
    - 市としては財政面・スピード感を考慮し、「D 案」を軸・基本計画素案として決定・まとめていきたいと考えております。

6. 質疑応答・議論

〇委員

長年懸念されている本庁舎の耐震性や老朽化問題はどうなるのでしょうか。庁舎機能を切り離す「D 案」に対しては、市民や各委員から強い疑問や危機感が出るのではないでしょうか。ここ一、二年で本当に庁舎の素案が作成できるのでしょうか。D 案をそのまま飲んで整理なく進めるのは非常に危険だと感じます。

〇事務局

ご指摘の通り、庁舎の耐震化は早急に解決すべき課題です。D 案で交流機能を先行させつつも、庁舎問題につきましても放置するわけではなく、既存施設の活用や規模縮小・改修・新築の比較検討を早急に進め、皆様に早期に方向性をお示しできるよう並行して取り組んでまいります。

〇委員

本庁舎の単独整備には膨大な資金（基金等）が必要であり、だからこそ長年放置されてきた経緯があります。災害時に司令塔となれない建物に職員を置いたまま仕切り直しをするのは非常に危険です。安易に切り離すような提案は受け入れがたく、違う方向性で整理すべきです。

〇委員

足かけ 8 年近く議論していますが、スピード感が非常に遅く、方針が二転三転しコロコロ変わりすぎています。補助金が得られる時期を延ばし、複合化して後回しにした結果がこれではないでしょうか。行政のスピード感に疑問があり、文化施設だけ先走って本当に大丈夫なのか懸念があります。

〇座長

お二人のおっしゃる危機感・懸念はごもっともです。長年の課題であった庁舎問題を一挙に解決しようとしたものの、情勢の変化や資材高騰により立ち行かなくなったのが現状です。

しかし、現在留萌市には「道の駅 第3ステージ応援パッケージ（令和7～9年度）」という国からの強力な支援策が提示されています。今このタイミングを逃せば、留萌市に複合施設・交流施設すら建てられなくなってしまいます。
そこで私からの提案ですが、「D案（交流機能の先行整備）」を進める前提条件・申し送りとして、我々検討会議が今後の「庁舎整備の問題」を置き去りにせず、継続して関与・チェック・検討していくという形にしてはどうかと考えておりますが、いかがでしょうか。

〇委員
座長が言われるように、庁舎問題をうやむやにせず、本会議の検討課題として明確に位置付け・継続議論してもらえるのであれば、D案で進めることに納得いたします。

〇全員（了承）

〇座長
ありがとうございます。それでは、代替案については「D案」を採用し、庁舎問題については今後も継続して本会議で検討していくということで合意とさせていただきます。

7. 今後のスケジュールについて（資料7）
〇事務局
今後のスケジュール（資料7）につきましてご説明いたします。

- **令和8年度**： 年内に基本計画素案を取りまとめ。
- **令和9年度～10年6月**： 基本設計へ移行
- **令和10年9月～11年11月**： 実施設計（並行して旧駅解体）。
- **令和12年4月～14年度**： 建設工事・周辺整備、移転・供用開始。

国の応援パッケージ支援（令和7～9年度）を活用するため、令和8年12月頃までには市としての基本計画を確定させる必要があります。

〇座長
スケジュールは大変タイトです。国の補助金を確実に獲得するためにも、年内の素案取りまとめに向け迅速に進める必要があります。
なお、施設の細かな仕様・機能配置等につきましては、令和9年度からの「基本設計」の期間において、会議を開催し市民意見を反映させる機会を設けます。次回会議で素案を固め、全体の枠組みを決定していきたいと思います。

〇委員
D案の場合、フルボリューム時と同等の「防災機能（避難者の受け入れ人数等）」は確保されるのでしょうか。

〇事務局
庁舎機能が入らないため、災害対策本部などの拠点機能や大規模な避難スペースは除外されます。ただし、道の駅利用者や地域住民が一時的に垂直避難できるような最低限の防災配慮・設いは持たせる予定です。

8. 次回日程・その他・閉会

〇事務局

次回「第 2 回 市民検討会議」は、10 月 27 日（火）15:00～（市役所 3・4 号会議室）を予定しております。D 案を反映した基本計画素案の提示および庁舎機能の並行検討に関する進捗・状況について報告・協議いたします。

〇委員

次回欠席するため発言させていただきます。現在、留萌の文化・音楽関係者（留萌文化会議、吹奏楽連盟、小中高顧問等）で、今後の子供たちや市民が利用しやすい施設仕様について打ち合わせを行っております。書面にて提出いたしますので、ぜひ計画に反映していただければ幸いです。

〇座長

ありがとうございます。ご欠席される方やご提案がある方は事前に書面でご提出いただければ資料として配付・検討いたします。クラウドファンディングや市民ボランティアの活用など、具体的で前向きなご提案を期待しております。

以上をもちまして本日の会議を終了いたします。ありがとうございました